

水平展開により、「玩具」という新たな分野へ進出

山田化学株式会社 三重県伊賀市

プラスチック製の家庭日用品全般の企画デザイン、製造、販売を手掛ける山田化学株式会社（代表取締役 山島俊也氏）は、大手100円均一ショップやホームセンター、ネット販売等でこれまで売上を着実に伸ばしてきた。

今後、販売先を開拓しさらに売上げを増加させるため、山島社長は、自社の技術力を使って事業を水平に展開。プラスチックを素材とする新たな分野として玩具に着目した。そして、2013年の初頭から商品の企画・設計を開始し、1年程度かけて金型を製作。今年7月にブロック玩具「DECO CUBE」の販売を開始した。「新しい分野でノウハウもなく、特に金型づくりが大変だった」と山島社長は当時を振り返る。

「DECO CUBE」は、最小のものは一辺がわずか10mmの小さなパーツだが、ひとつひとつ精巧に作られている。6面のうち5つの面は穴があき、残りの1面だけに突起が付いている。形状には工夫を凝らし、突起にギザギザを付けているため、いったんはめると回転しない。

これにより、ブロックを上へ重ねるだけでなく前後左右上下の6つの方向につながることができるうえ、斜めに連結することもできるため、動物の顔の表情や耳、しっぽの形状をうまく表現することができる、よりリアル感やデザイン性が増している。



「DECO CUBE」の形状とカラーバリエーション

カラーバリエーションも18色と豊富で、大小7種類のピースと組み合わせた商品群は、キリンや犬など7種類の「アニマルシリーズ」と携帯電話やテレビのリモコン等を置く「ステーションシリーズ」。パイヤーの受けもよく、大手ネット販売会社で既に販売が開始されているほか、玩具店や書店、家電量販店、総合ディスカウントストアなど販売チャンネルは多様である。また、販売に先駆けて6月にビッグサイトで開催された「東京おもちゃショー2014」に出展。来場者からの評判は上々だという。

「DECO CUBE」は、「組み立てる」楽しみと完成した後に「使う・飾る」楽しみを併せ持った商品で、ターゲットとする顧客は6歳から大人まで幅広い。まずは個人向けだが、将来的には個人だけでなく、来店記念、成約記念など企業のギフトやノベルティとして、また企業のロゴマークや壁掛けインテリアなども視野に入れる。今後は、「顧客の反応を見ながら事業拡大を進める」とする山島社長。本格的に販売が始まるこれからの進展が楽しみだ。

（丸尾尚史）



「DECO CUBE」の商品群



山島社長

山田化学株式会社

〒518-1155 三重県伊賀市治田字大沢 3090-1
 TEL: 0595-20-9177 FAX: 0595-20-9188
 URL: <http://www.yamadakagaku.co.jp/>